

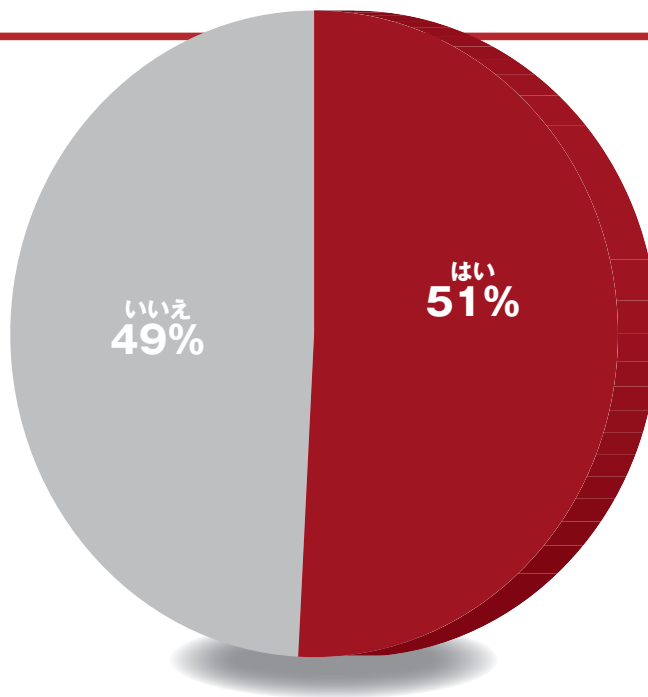
ヘッドランプレンズ交換に関する意識調査

アンケートは車体整備工場や整備工場を中心に Web を用いて行った。回答数は 137 軒。

Q1 ヘッドランプレンズ交換の施工実績はありますか？

ヘッドランプレンズ交換の実績はほぼ半々の結果に。この質問は、特段ブチルテープ式、ガスケット式の制限を設けていない。1990年代後半から2000年代半ばにかけてヘッドランプレンズが供給されていたころからの累積であると考えてもらいたい。

意外と過去を遡ればヘッドランプレンズ交換を経験したことがある工場は少なくない。



Q2 ヘッドランプレンズを交換するとすれば、いくらのお賃が最低限必要だと思いますか？（ヘッドランプAssyの部品価格は100,000円とする）

10,001～20,000円（38%）と20,001～30,000円（30%）で全体のおよそ7割を占めた。こちらもブチルテープ式、ガスケット式の違いについて指定していない。

だが、100,000円の部品代を前提としたヘッドランプレンズ交換の作業工

賃について、30,000円程度出せば全体の8割以上が前向きに仕事を受けるか検討することを意味している。

ガスケット式は作業がブチルテープ式に比べて容易であることを加味すると、この相場感は今後下振れする可能性は高いが、指数は車種にもよるもの

の、片側0.50～0.70程度であることを考えれば、5,000円ほどにしかならない。保険仕事で指数通りの運用をするとなれば、相場感とのギャップを埋めることは難しいだろう。

この場合、我々工場側は保険仕事ではなく値付けが自由にできる自費修理

ガasket式 ヘッドランプレンズ交換

トヨタ・プリウス (W5#系)

撮影協力：あいおいニッセイ同和自動車研究所

※ 作業にあたって撮影目的で一部手袋を外しているものがありますが、イメージです。作業中はヘッドランプ内部に直接触れないよう、手袋の装着がカーメーカーより推奨されています。

トヨタ・プリウス (W5#系) ヘッドランプレンズの交換を紹介する。同車は水密性確保にブチルテープを使っていない。手で触っても肌に付着しない。取り外しもハウジング部の溝から手で引っ張り出すだけで、ノリ残りもない。もっとも、ノリ残りについては車両が新しいためである可能性も否定できないが、ブチルテープ式に比べて作業性が改善されている。

作業紹介ではヘッドランプレンズとハウジングを破損しないように作業を

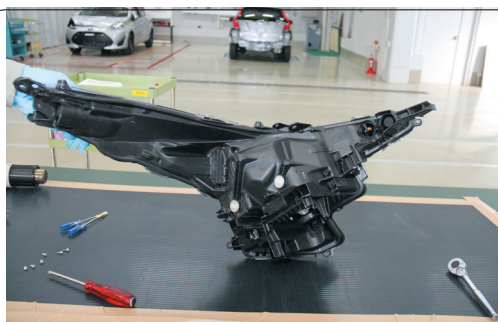
行った。しかし、実際に事故車として入庫した場合、ヘッドランプレンズとハウジング両方の供給がある同車においては、いずれか片方もしくは、両方を交換することになる。交換前提であれば回りくどいことはせずに、ヘッドランプレンズ側のツメを切るなど手早く済ませる方法も検討できる。

これまでの作業経験から過去に失敗が少なかった方法を紹介しているが、成功を保証するものではない。あくまで参考としてほしい。

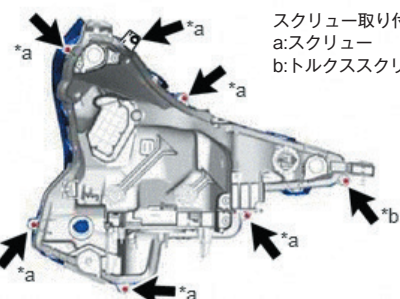


使用工具
ヒートガン、トルクスレンチ、プラスドライバー、
離型紙を巻いたマイナスドライバー×2

取り外し作業



工程 1 最初にヘッドランプカバーやターンシグナルランプバルブは取り外しておく



スクリー取り付け位置
a:スクリュー
b:トルクススクリュー

工程 2 スクリューは温める前に取り外す

同車は6カ所のスクリューとトルクススクリュー1カ所で固定されている。このスクリューは、ハウジングとヘッドランプレンズを固定している。せっかく加温してもスクリューで固定されているとは分解作業ができない。